



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社うるる 上場取引所 東  
 コード番号 3979 URL <https://www.uluru.biz/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星 知也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 Co-CFO (氏名) 内丸 泰昭 (TEL) 03(6221)3069  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA(※)		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,292	21.6	280	—	237	—	248	—	156	—
2023年3月期第1四半期	1,062	14.8	△27	—	△47	—	△40	—	△47	—

(※) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 156百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △47百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	22	70	22	68
2023年3月期第1四半期	△6	84	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,725	—	2,247	—	47.6	—
2023年3月期	4,621	—	2,088	—	45.2	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 2,247百万円 2023年3月期 2,088百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	23.4	1,500	—	1,300	—	1,280	—	800	—	115.70

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は年次での業務管理を行っているため、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	6,923,400株	2023年3月期	6,917,400株
2024年3月期1Q	5,908株	2023年3月期	308株
2024年3月期1Q	6,911,557株	2023年3月期1Q	6,907,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

平成30年版「情報通信白書」によると、日本の生産年齢人口は2017年から2040年にかけて約1,600万人減少することが推計されており、労働力不足による経済規模の縮小、国際競争力の低下といった社会的・経済的な課題が深刻化することが危惧されております。そのような状況の中、当社グループは「労働力不足を解決し人と企業を豊かに」というコーポレートビジョンのもと、「労働力不足解決のリーディングカンパニー」を目指し、これまで様々な領域において労働力の代替ソリューションとなる事業をSaaSを中心に複数展開し、上記社会課題の解決に向き合ってきました。

当社グループは、「在宅ワークのスタンダード化」を目指して、2003年11月に企業のアウトソーシング・ニーズの受け皿となるBPO (Business Process Outsourcing) 事業を開始いたしました。その後、受託する業務量の増加に伴うニーズの多様化を受け、より効率的に運営を行うことを目的として2007年2月に当社グループを経由せずにクライアントと主に主婦のクラウドワーカーの業務受発注をマッチングさせるクラウドソーシング事業「シュフテイ」を開始。さらに、BPO事業で培われたノウハウとクラウドソーシング事業が持つリソースを掛け合わせることで、当社グループ自身がクラウドワーカーを活用して新たなサービスを創出するCGS (Crowd Generated Service) 事業として、現在も売上高の約半分及び利益の大半を占める主力サービスである官公庁等の入札情報を提供する入札情報速報サービス「NJSS (エヌジェス)」を2008年9月に開始いたしました。その後、2014年10月に幼稚園・保育園向けの写真販売管理システム「えんフォト」、2019年2月にクラウドワーカーを活用した電話受付代行サービス「fondesk」を開始。また2020年12月にはえんフォトとのシナジー創出を目的に出張撮影マッチングサービス「OurPhoto (アワーフォト)」を運営するOurPhoto株式会社の全株式を、2023年1月にはNJSSとの連携を目的に入札情報検索サービス「nSearch」を運営する株式会社ブレインフィードの全株式をそれぞれ取得して完全子会社化し、現在の事業構成へと至っています。

「NJSS」・「fondesk」・「えんフォト」・「nSearch」はいずれもSaaS (Software as a Service) であり、現在ではSaaS事業が当社グループの成長の基盤となっております。そのようなSaaS事業を取り巻く環境につきましては、富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2022年版」によると、国内SaaS市場規模は、2022年度において10,891億円となっており、2026年度には16,681億円に達すると予測されております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,292,386千円(前年同期比21.6%増)、EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額(以下同様))は280,313千円(前年同期は△27,481千円)、営業利益は237,786千円(前年同期は47,128千円の営業損失)、経常利益は248,422千円(前年同期は40,191千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は156,902千円(前年同期は47,227千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。また、NJSS、えんフォト、fondeskといったSaaSのARR(年間経常収益)を合計した全社ARRは39億円を突破しました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

事業別	前連結会計年度第1四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当連結会計年度第1四半期 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		売上高 前期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
CGS事業	815	76.8	1,030	79.8	26.4
NJSS	552	52.0	672	52.1	21.7
fondesk	136	12.9	201	15.6	47.4
フォト	126	11.9	156	12.1	24.0
その他	—	—	—	—	—
BPO事業	239	22.5	255	19.7	6.6
クラウドソーシング事業	7	0.7	6	0.5	△17.0
合計	1,062	100.0	1,292	100.0	21.6

#### ① CGS事業 NJSS

CGS事業の主力SaaSである「NJSS」については、「ARPU(一件当たり日割り売上高)と有料契約件数の最適化を図ることで将来に渡る売上高を拡大する」という方針に基づき各種施策を展開した結果、有料契約件数は、解約数を抑えつつ新規契約を着実に獲得することができたことから、2023年6月末時点で5,980件と、2023年3月末比で258件増加いたしました。ARPUは1,166円となりましたが、今後、新機能リリース等により、中長期的に維持・増加を目指してまいります。また、カスタマーサクセスの強化により、有料契約件数をベースにした12ヶ月平均の解約率は1.44%(同2023年3月末1.44%)と前連結会計年度から1.4%台を維持し、ARR(年間経常収益)も約27億円と成長を続けております。

このほか、2023年1月に完全子会社化した入札情報検索サービス「nSearch(エヌ・サーチ)」を運営する株式会社ブレインフィードとのシナジー創出にも注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるCGS事業 NJSSの売上高は672,758千円(前年同期比21.7%増)となり、セグメントEBITDAは344,345千円(前年同期比80.2%増)、セグメント利益は323,661千円(前年同期比71.3%増)となりました。

NJSS KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高(百万円)	552	584	608	640	672	—	—	—
EBITDA(百万円)	191	216	268	265	344	—	—	—
ARR(百万円)	2,215	2,312	2,374	2,471	2,654	—	—	—
NJSS 有料契約件数	4,968	5,183	5,398	5,722	5,980	—	—	—
NJSS ARPU(円)	1,195	1,195	1,190	1,164	1,166	—	—	—
NJSS 解約率(%)	1.45	1.46	1.42	1.44	1.44	—	—	—
NJSS LTV(千円)	2,255	2,264	2,318	2,189	2,208	—	—	—
nSearch 有料契約件数	—	—	—	423	485	—	—	—

- (注) 1. ARR: 「年間経常収益」。各四半期末時点のMRRに12を乗じて算出。当連結会計年度第1四半期より、「nSearch」「GoSTEP」等の周辺サブスクリプションビジネスも含めたMRRに12を乗じた数値
2. ARPU: 有料契約一件当たりの日割り売上高。
3. 解約率: 前月末有料契約件数に対する当月解約件数の割合。上表は12か月平均の数値。
4. LTV: 「顧客生涯価値」。ARPU×1/解約率×粗利率90%で算出。

## ② CGS事業 fondesk

CGS事業におけるSaaSである「fondesk」は、バックオフィス業務のDX化を支援するサービスの一つとしての認知を拡大させ着実に需要を取り込んだことで、2023年6月末時点で有料契約件数が4,272件(2023年3月末比218件増加)と成長いたしました。また、ARPUは15,725円と料金改定を行った2022年7月以降は15,000円前後の水準を安定して推移しています。加えて、UI・UX改善のためのシステム改修を行うなどユーザー利便性向上に継続的に取り組んできた結果、有料契約件数をベースにした12ヶ月平均の解約率は1.4%(同2023年3月末1.5%)と過去最低の解約率となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるCGS事業 fondeskの売上高は201,539千円(前年同期比47.4%増)となり、セグメントEBITDAは62,624千円(前年同期は△4,043千円)、セグメント利益は62,435千円(前年同期は4,163千円のセグメント損失)となりました。

fondesk KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高(百万円)	136	167	175	180	201	-	-	-
EBITDA(百万円)	△4	11	35	△72	62	-	-	-
有料契約件数	3,550	3,718	3,896	4,054	4,272	-	-	-
ARPU(円)	12,840	14,987	15,056	14,810	15,725	-	-	-
解約率(%)	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	-	-	-
ARR(百万円)	547	668	703	720	806	-	-	-

(注) 1. ARPU：有料契約一件当たりの月割り売上高。

2. 解約率：前月末有料契約件数に対する当月解約件数の割合。上表は12か月平均の数値。

3. ARR：「年間経常収益」。各四半期サブスクリプション売上高と各四半期リカーリング売上高の合計に4を乗じて算出。

## ③ CGS事業 フォト

CGS事業におけるSaaSである「えんフォト」は、2023年6月末の契約園数が4,339園(2023年3月末比153件増加)と契約数を堅調に伸ばしつつ、園ごとの利用頻度を向上させる取り組みに注力いたしました。各種アップセル施策が好調であることや、コロナ禍一巡によるイベント撮影増加に起因する販売価格の上昇により、園当たり売上高は29,901円(前連結会計年度第1四半期は27,097円)と成長しています。また、2020年12月に完全子会社化した出張撮影マッチングサービス「OurPhoto(アワーフォト)」を運営するOurPhoto株式会社についてもえんフォトとのシナジー創出やマーケティング施策の展開等に注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるCGS事業 フォトの売上高は156,668千円(前年同期比24.0%増)となり、セグメントEBITDAは13,225千円(前年同期は△56,573千円)、セグメント利益は5,673千円(前年同期は64,308千円のセグメント損失)となりました。

フォト KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高(百万円)	126	114	170	161	156	-	-	-
EBITDA(百万円)	△56	△74	△40	△38	13	-	-	-
えんフォト 契約園数	3,757	3,835	3,942	4,186	4,339	-	-	-
えんフォト 園当たり売上高(円)	27,097	25,222	28,983	34,882	29,901	-	-	-
えんフォト ARR(百万円)	407	386	457	584	518	-	-	-
OurPhoto 撮影件数(件)	4,551	3,165	9,381	3,138	3,977	-	-	-

(注) ARR：「年間経常収益」。各四半期リカーリング売上高に4を乗じて算出。

## ④ BPO事業

BPO事業におきましては、新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの社会浸透を背景とする紙の電子化需要などにより引き合いが好調に推移いたしました。2023年3月に設立した徳島第三センターや大分センターも安定的な稼働が開始いたしました。また、SaaS型データ自動化サービス「eas(イース/Entry Automation System)」においてはターゲットを絞って個別顧客ごとにアプローチするなど成長のための施策に着手しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるBPO事業の売上高は255,226千円(前年同期比6.6%増)となり、セグメントEBITDAは13,939千円(前年同期は△7,242千円)、セグメント利益は3,046千円(前年同期は14,917千円のセグメント損失)となりました。

BPO KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高(百万円)	239	323	288	364	255	-	-	-
EBITDA(百万円)	△7	50	7	11	13	-	-	-

## ⑤ クラウドソーシング事業

クラウドソーシング事業におきましては、「シュフティ」に登録されているクラウドワーカー数は2023年6月末時点で約45万人となっておりますが、CGSにリソースを供給するためのプラットフォームとして、ユーザー利便性向上のためのサービス改修や安定的運営のためのカスタマーサポート改善に継続的に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるクラウドソーシング事業の売上高は6,193千円(前年同期比17.0%減)となり、セグメントEBITDAは△4,371千円(前年同期は△2,736千円)、セグメント損失は4,418千円(前年同期は2,817千円のセグメント損失)となりました。

クラウドソーシング KPI	前連結会計年度				当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高(百万円)	7	7	6	6	6	-	-	-
EBITDA(百万円)	△2	△4	△7	0	△4	-	-	-

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末と比べ103,649千円増加し、4,725,232千円となりました。これは主に現金及び預金の増加217,114千円、売掛金の減少134,339千円、流動資産その他の増加29,065千円、無形固定資産その他の増加45,955千円、投資その他の資産の減少41,729千円、によるものです。

負債については、前連結会計年度末と比べ55,137千円減少し、2,477,617千円となりました。これは主に契約負債の増加175,688千円、買掛金の減少52,797千円、未払法人税等の減少14,328千円、賞与引当金の増加39,391千円、流動負債その他の減少192,584千円によるものです。

純資産については、前連結会計年度末と比べ158,787千円増加し、2,247,615千円となりました。これは利益剰余金の増加156,902千円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2023年5月15日に決算短信で公表しました内容に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,396,104	2,613,218
売掛金	343,102	208,763
仕掛品	34,536	35,601
その他	161,167	190,232
貸倒引当金	△3,477	△3,491
流動資産合計	2,931,434	3,044,326
固定資産		
有形固定資産	201,283	206,203
無形固定資産		
のれん	434,211	415,823
その他	245,921	291,877
無形固定資産合計	680,133	707,700
投資その他の資産		
投資有価証券	448,663	448,487
その他	360,068	318,515
投資その他の資産合計	808,732	767,002
固定資産合計	1,690,149	1,680,906
資産合計	4,621,583	4,725,232
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,031	114,234
1年内返済予定の長期借入金	38,880	28,810
未払法人税等	81,295	66,967
契約負債	1,481,810	1,657,499
賞与引当金	—	39,391
その他	751,018	558,433
流動負債合計	2,520,037	2,465,336
固定負債		
その他	12,718	12,281
固定負債合計	12,718	12,281
負債合計	2,532,755	2,477,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,036,616	1,037,616
資本剰余金	1,018,916	1,019,916
利益剰余金	33,600	190,503
自己株式	△353	△353
株主資本合計	2,088,780	2,247,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	△67
その他の包括利益累計額合計	47	△67
純資産合計	2,088,827	2,247,615
負債純資産合計	4,621,583	4,725,232



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,062,656	1,292,386
売上原価	289,741	326,794
売上総利益	772,915	965,592
販売費及び一般管理費	820,044	727,806
営業利益又は営業損失(△)	△47,128	237,786
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	—
補助金収入	7,400	10,640
その他	211	857
営業外収益合計	7,615	11,500
営業外費用		
支払利息	99	46
固定資産除却損	578	—
雑損失	—	818
営業外費用合計	678	864
経常利益又は経常損失(△)	△40,191	248,422
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40,191	248,422
法人税、住民税及び事業税	2,644	59,089
法人税等調整額	4,390	32,430
法人税等合計	7,035	91,519
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,227	156,902
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,227	156,902

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,227	156,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△262	△115
その他の包括利益合計	△262	△115
四半期包括利益	△47,489	156,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,489	156,787

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	CGS事業 NJSS	CGS事業 fondesk	CGS事業 フォト	CGS事業 その他	BPO事業	クラウド ソーシング 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	552,773	136,756	126,336	—	239,328	7,462	1,062,656	—	1,062,656
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	3,620	3,620	△3,620	—
計	552,773	136,756	126,336	—	239,328	11,082	1,066,277	△3,620	1,062,656
セグメント利 益又は損失 (△)	188,986	△4,163	△64,308	△10,856	△14,917	△2,817	91,924	△139,052	△47,128

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△139,052千円は、セグメント間取引消去28千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に販売費及び一般管理費)△139,081千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	CGS事業 NJSS	CGS事業 fondesk	CGS事業 フォト	CGS事業 その他	BPO事業	クラウド ソーシング 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	672,758	201,539	156,668	—	255,226	6,193	1,292,386	—	1,292,386
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	105	3,451	3,556	△3,556	—
計	672,758	201,539	156,668	—	255,331	9,645	1,295,943	△3,556	1,292,386
セグメント利 益又は損失 (△)	323,661	62,435	5,673	△10,739	3,046	△4,418	379,658	△141,872	237,786

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△141,872千円は、セグメント間取引消去298千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に販売費及び一般管理費)△142,171千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、M&Aに関わる費用は報告セグメントに帰属しない全社費用として「調整額」に区分しております。

当第1四半期連結会計期間よりブレインフィード社の業績を連結に含めるに当たり、ブレインフィード社が自社サービスとして展開する入札情報検索サービス「nSearch」の事業内容を踏まえて、区分を「CGS事業NJSS」セグメントに変更しております。

なお、2023年1月4日(みなし取得日 2023年3月31日)にブレインフィード社の株式を取得したため、この報告セグメントの変更が、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響はありません。